

会議録(概要)

会議名	令和元年度 第3回 芦屋町子ども・子育て会議					
会場	芦屋町役場 4階 41 会議室					
日時	令和元年 10 月 3 日 (木) 15:00~16:00					
委員の出欠	委員長	小林 和子	出	委員	三木 友妃代	出
	副委員長	伊藤 亜希子	出	委員	岩崎 眞樹	欠
	委員	乙坂 有里	欠	委員	向井 米子	出
	委員	本郷 あゆみ	出	委員	今田 和彦	出
	委員	濱野 頼子	出	委員	新開 晴浩	欠
	委員	瓜生 幸加	出	委員	石川 智雄	出
	委員	森山 真奈美	欠	委員		
傍聴者	0 名					
件名・議題	<p>議事</p> <p>(1) 教育・保育施設の利用定員の設定について</p> <p>(2) 計画素案について</p> <p>(3) その他</p>					
合意事項 決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・愛生幼稚園の子ども・子育て支援新制度への移行及び芦屋中央幼稚園の定員変更を承認された。 ・計画の量の見込みについて承認された。 					

令和元年度 第3回 芦屋町子ども・子育て会議

○日時 令和元年 10月3日（木） 15:00～16:00

○協議

<議題1 教育・保育施設の利用定員の設定について>

【質疑応答】

（委員）

・令和元年度現在の幼稚園の利用人数はどのくらいか。

（事務局）

・6月1日現在で、認定こども園を利用している1号認定の3歳児が54人、4歳児が52人、5歳児が43人、2号認定の3歳児が7人、4歳児が11人、5歳児が11人、3号認定が6人、合計すると184人になる。愛生幼稚園は3歳児が11人、4歳児が16人、5歳児が7人、合計で34人となっている。

（委員長）

・令和2年度からの算定は町外から利用されているお子さんの数も入れているのか。

（事務局）

・今のところの見込みは町内の児童だけである。

（委員）

・新しい定員になった場合、カバーできるのか。

（事務局）

・現在の児童については、確実に確保できるように設定している。

（委員）

・中央幼稚園の0歳児～1歳児は、実際には施設も整っていないし、受け入れられていないと思うが、定員の設定は必要なのか。定員が設定されていると預けられるように見える。

（事務局）

・1歳児は今後、受け入れを開始する予定で動いてもらっている。0歳児は受け入れが難しいという話があり、1・2歳児を受け入れて頂きたいと町からお願いしていた。1歳児は施設の整備が必要になるのですぐには無理だという話だったが、来年度に向けて準備しているところである。

（委員長）

・では、定員の変更について賛同して頂けるか。

（全員）

・賛同する。

<議題2 計画素案について>

① 1章、2章の確認と3章について

【質疑応答】

(委員)

- ・基本理念案に「地域の特色を活かし」と書かれているが、地域の特色、芦屋町の特色って何があるのか。具体的な内容がほしい。

(事務局)

- ・コンパクトな町なので皆さんが一体的に動けるということと、町に根づいている保育所や幼稚園の色もあると思う。具体的にした方がわかりやすいと思うが、これまでの流れもあり、引き継いだ方がいいキーワードになると思う。

(委員長)

- ・芦屋釜の関係で佐野市との交流やすくすくファイルが思いつく。他の町ではされていない。

(委員)

- ・実際、すくすくファイルは使っていない。

(委員)

- ・何か気がかりなことがある時は書いて、幼稚園や学校に持って行っていることもあるようだが、基本的に何もない家庭は使っていない。

(委員長)

- ・特別支援教育は、発達に困難を感じている子どものためにあるので、多くの方には利用されていないかもしれない。

(事務局)

- ・すくすくファイルを使って頂けたら、切れ目ない支援ができるということで教育委員会が進めている。必要ない方には利用されていないかもしれない。また、釜の里を通じた教育も特色になるので、今後、具体的な内容として落とし込みたいと思う。

(委員長)

- ・では、次回までに地域の特色について思い浮かぶことがあれば事務局にご提案ください。

② 5章について

【質疑応答】

(小林委員長)

- ・質問・意見がなければ承認という事で宜しいか。

(全員)

- ・承認する。

(4) その他

【質疑応答】

(事務局)

- ・ 次回の会議は 11 月中旬～下旬とする。

(小林委員長)

- ・ 基本理念案については、皆さんの意見を次回にでも出して頂きたい。